

オープンキャンパス2012

白須ゼミ 神谷慶史
長村星良

目次

✓ 株式

✓ ポートフォリオ

✓ リスクの分散効果

✓ 具体例

株式

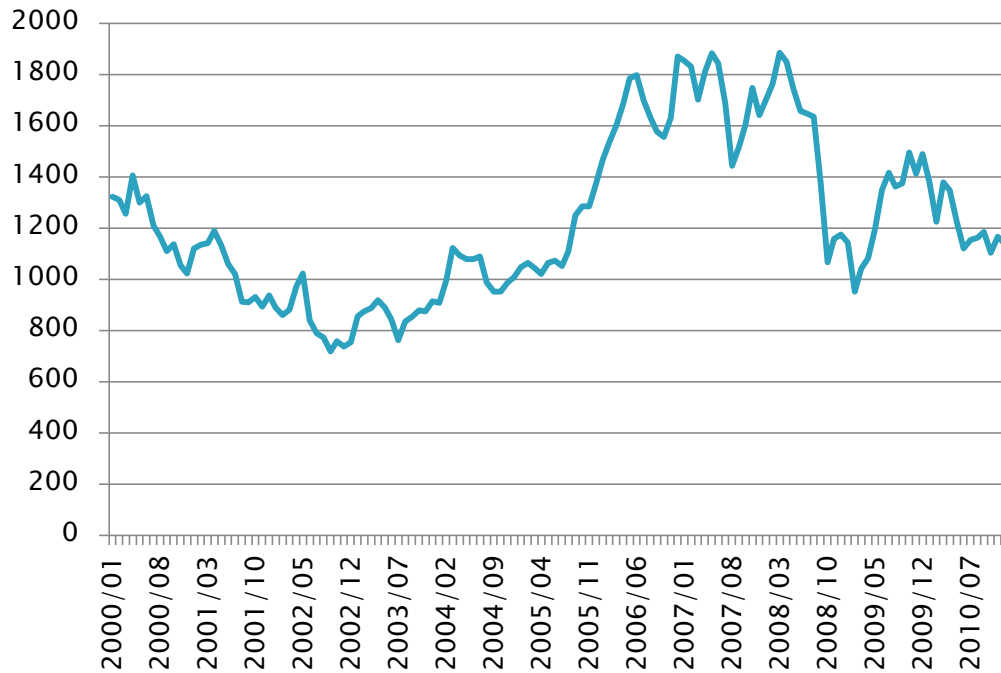
そもそも株式とは・・・

企業（株式会社）の資本の構成単位

- 配当
- 経営権
- 残余財産の分配権

株式

株価推移(麒麟ホールディングス)



(出所) 日経NEEDS-FinancialQUEST

株価は日々刻々と動き続けている



株価が下落すると損をする
・・・**リスク**がある

株式

リスクとは・・・不確実性

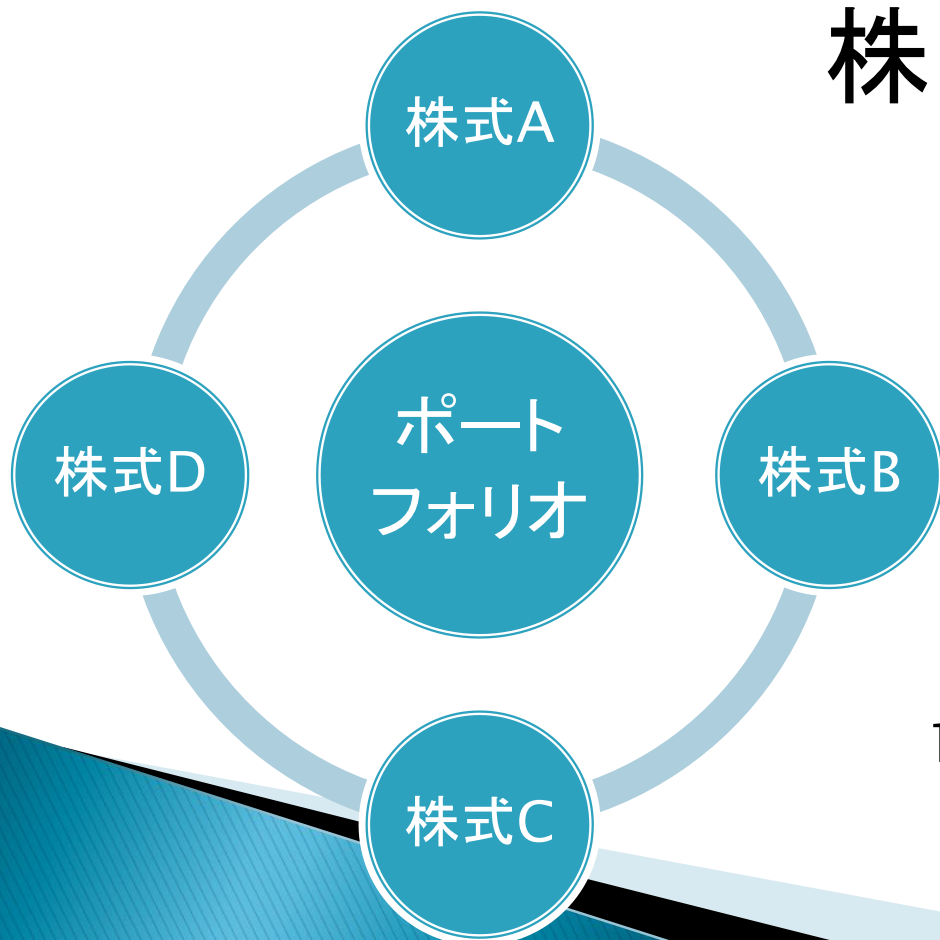
株式を保有するリスク
VS
国債を保有するリスク



リスクが高ければリターンも高いが、
リスクが低ければリターンも低い

ポートフォリオ

ポートフォリオ(portfolio) = 集合体
株式の詰め合わせ



…例えばスカイダイビングの
パラシュート
1つがいい?? 3つがいい??

Ex) 100万円持っている。

100万円

50万円…株式Aに投資
30万円…株式Bに投資
15万円…株式Cに投資
5万円…株式Dに投資

ポートフォリオ

➤ 日経平均株価

日経平均株価推移



(出所) 日経NEEDS-FinancialQUEST

規模が大きく

流動性が高い

225銘柄の

株式ポートフォリオの平均値

リスクの分散効果

ただ1つの株式を持つ??

or

複数の株式を持つ??

→ 複数の株式を持つ方が良い

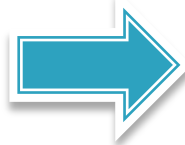
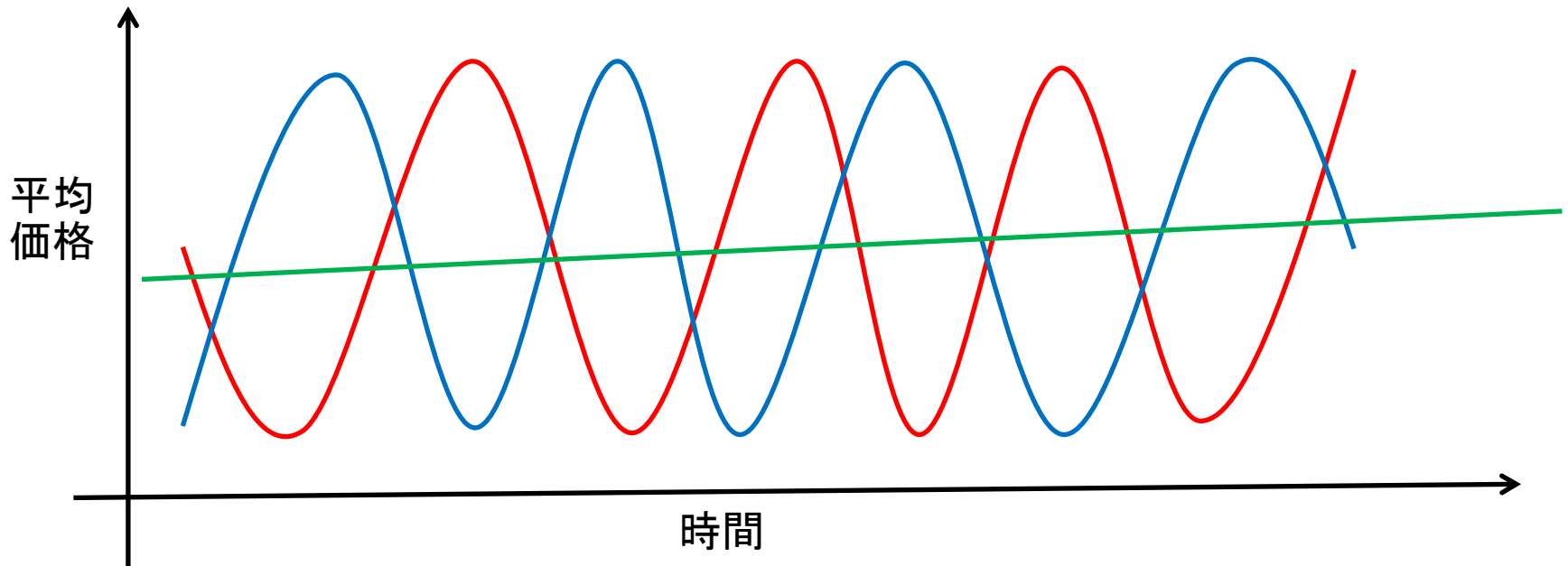


ポートフォリオを組むことによる**分散効果**

リスクの分散効果

株価の相互関係

X社とY社の株価の平均



2社の株価が損失を相殺し合う

リスクの分散効果

しかし、投資家全員が投資のプロフェッショナルではない…

そこで、

投資信託会社は最適なポートフォリオを組んだ商品を販売している

 **ファンド**

…ファンドとはどのように作成されるのだろうか？？

どのように作成するのか

銘柄選別：どの銘柄を組み入れるのか

- ・個別企業の業績を予測
- ・バリュエーション等から投資判断を決定

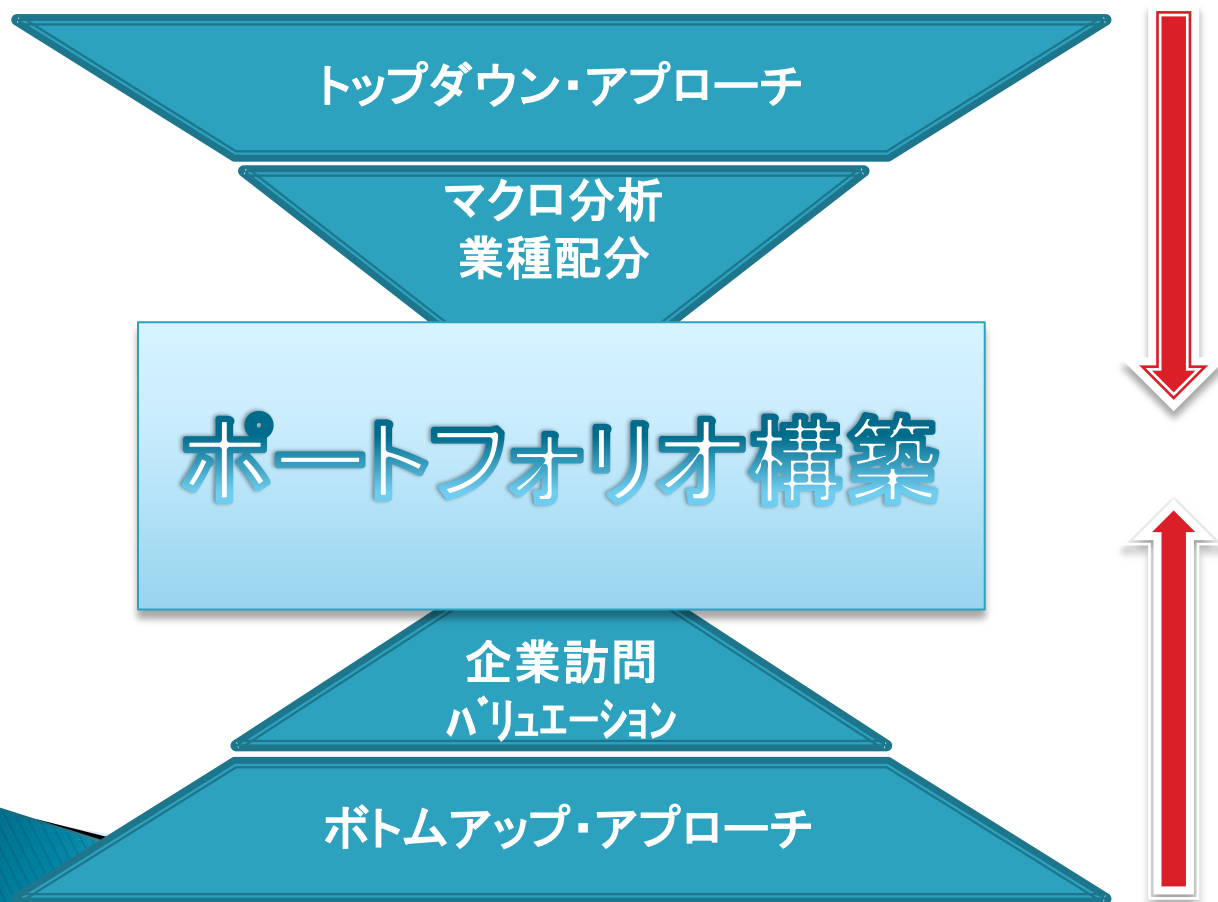
リスク管理：様々なリスクから守る

- ・将来どういうリスクが発生しそうなのか
- ・どの程度のリスクテイクをすればよいか

社会的意義：投資とは企業の社会性や成長性に投資すること

- ・それらの銘柄に投資することでどのような社会的意義が生まれるか

銘柄選別の手法



市場見通しに基づき、
投資先を決定
→見通しに見合う
業種・テーマの決定

個別企業の成長力等
を測る
→個別企業の・分析
に基づいて銘柄選定

トップダウン・アプローチ

ターゲット層をシニア層に！

50歳以上のシニア層が保有する
個人金融資産は日本全体の8割！

×

超高齢化社会の到来



シニア層の余剰資金の投資を促したい

2012. 7. 13 日経新聞朝刊一面

シニアの消費
(ex.旅行、レジャー)が活発



物価も押し上げる



デフレ経済からの脱却

都内の主婦、高橋知子さん(73)は最近、夫(75)と8泊の南米ツアーを申し込んだ。飛行機はビジネスクラスを使い、予算は2人で104万円。最近では旅行が最大の楽しみ」と10月の出発を待ちわびる。

金融資産900兆円

堅調景気

待ち受ける関門



海外旅行の相談に訪れパンフレットを見る女性グループ(東京都港区の阪急交通社新橋サービスセンター)

キーワード 資産効果

株価や地価の上昇が家計消費を活発にすること。家計が保有する住宅や株式など資産の評価額が上昇すれば、担保価値も上がり、余力のあるお金を消費に振り向けやすくなる。逆に資産価格の下落による消費減は逆資産効果と呼ばれる。家計の株式保有割合の違いから、日本では米仏英より資産効果が小さいと内閣府は推計している。

プの水着などが売れているという。年金生活のシニアは毎月の収入が現役時代より少ないが、スーツ代などがなくなるので、旅行や趣味にお金を振り向けやすくなる。年金支給日だった6月15日、イトーヨーカ堂の売り上げは介護用品で前年の5割増、ペット用品も3割増と伸びた。65歳

シニア消費脱デフレの芽

シニアの消費が活発だ。目立つのが旅行・レジャーへの出費。5月の家計調査では65歳以上の世帯は支出の2.5%をバック旅行費に充てた。この割合は全世帯平均より0.7%高い。シニア客は単価が高いことが多

引張る。その主役が65歳以上のシニアだ。65歳以上が保有する金融資産は900兆円。団塊の世代が引退し始める2012年度は、こうした傾向が一段と強まる。東京・新宿の小田急ハ

ル。水着売り場に来店する6割弱が60代だ。ア

他のファンドとの差別化

シニアというと思い浮かぶ
のは医療・介護など

ここに注目して
いるファンドは
他にはない！！

実際は元気な
シニアが多い

シニアの生き生きとし
た生活
＝アクティブシニアに
注目

ボトムアップ・アプローチ

投資戦略の決定

安定収益型

シニア層は将来への不安を持っている

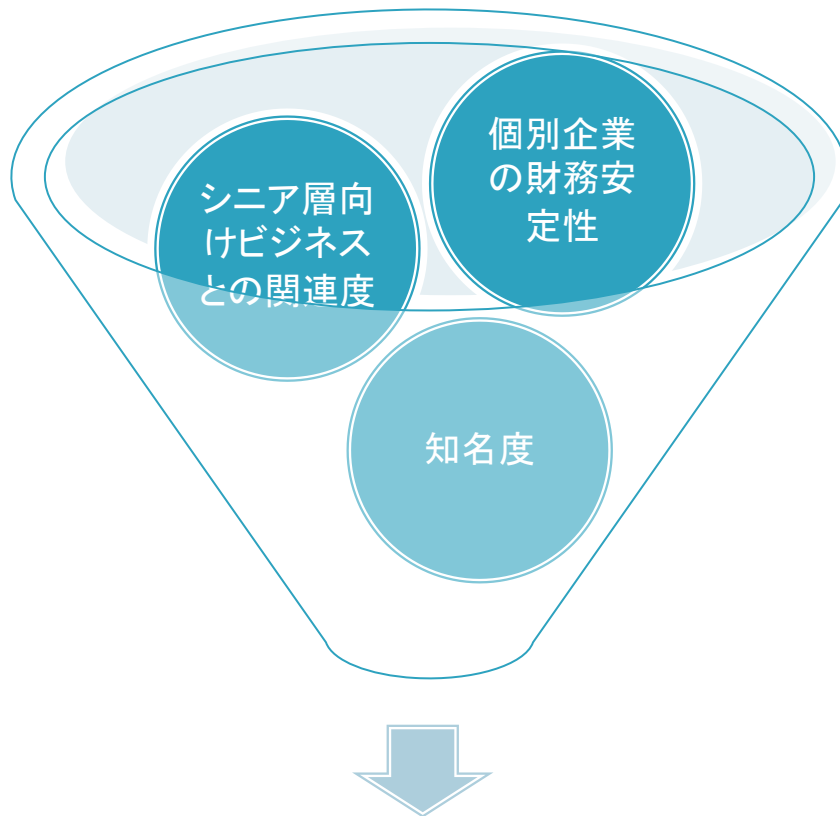
→長期的に安定した収益が得られると思われる

優良企業を選出

運用目標

ベンチマークをTOPIXに設定し、TOPIXを上回るようなパフォーマンスを創出する

銘柄選定プロセス



大まかなフィルターを用いて銘柄を絞り込む

事業・経営状態分析

事業分析

- ①アクティブシニア層向けの娯楽ビジネスを展開しているか
- ②超高齢化社会をふまえ、シニア世代を応援するようなビジネスを展開しているか



経営状態分析

- ①収益性を見る
 - ②割安性を見る
- それぞれがその企業が属する業界の平均以上かどうかを調べる



銘柄
決定

ここまでで…

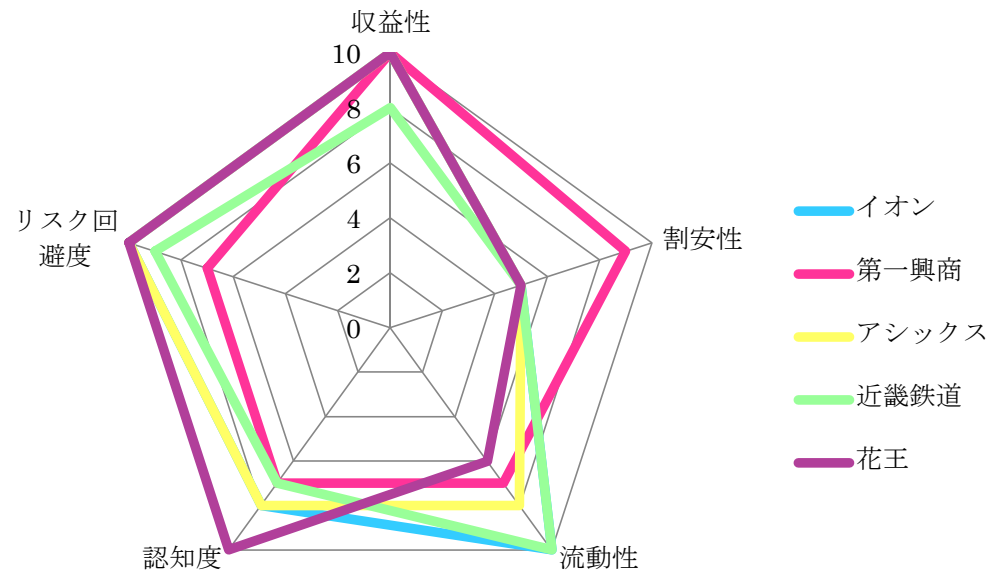
投資銘柄が決定！！

あと決めるべきことは…？

→各企業の投資割合を決定させる

右図のように5つの指標を用いて順位づけを行う

→銘柄選別の完了！



銘柄一覧

コカコーラ ウエスト	ABCマート	日本道路	フジ日本精糖	ゲンキー	ハウス食品
花王	ジュピター テレコム	太陽化学	フジッコ	日本毛織	小松精糖
マンダム	第一興商	ロート製薬	持田製薬	日水製薬	キヨーリン 製薬HD
アシックス	イオンモール	リゾート トラスト	資生堂	ファンケル	コーセー
近畿日本鉄道	MTI	トヨタ車体	ハリマ 共和物産	JR西日本	JR東海
東宝	サンドラッグ	阪急阪神HD	日新	全日本空輸	ニッコウ トラベル
コナミ	シャルレ	バロー			

代表銘柄

第一興商(株)

→ 業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店事業

①「Dramatic Active Member's DAM 倶楽部」

- 健全シニア市場に参入
- 歌と健康のコミュニケーションがテーマの“参加型コミュニティ”
- 精神的な豊かさを追求！

②安定性、収益性

- シニア市場は今後急速な拡大が見込まれる。
- 業務用カラオケ通信機器事業は8割以上のシェア、契約件数も増加傾向。介護施設などへの機器導入も急増傾向。
- DAMの新機種の開発や新たな市場開拓に積極的。

リスク管理

株価変動リスク: 基準価格の低下

- ・ディフェンシブ株を組み入れる

流動性リスク: 売買のむずかしさ

- ・出来高の大きさを選定条件

リスクと対応策

利回り低下リスク

- ・収益の安定性を選定条件

信用リスク: 投資先の倒産

- ・情報の少ない企業は除外

運用情報

- 投資銘柄: 39社
- 運用金額: 50億円
- 運用目標: TOPIXを上回ること
- 組入比率: 第一興商(株) 6.0%など

運用実績(百万)

